

兒 童 研 究

社會の改善も、人類の向上も、文明の進歩も、國家の發展も、詮じつむれば、ただ善良の兒童を得るにありと言ふことになる。兒童を愛する國は興り、兒童を顧みざる國は亡ぶ、これは千古萬古變ることなき箴言である。兒童の研究は、ひとり教育家や、醫家に一任して置くべきものではない。世の父兄自ら研究すべき筈のものである。兒童の研究は即ち我を愛し、家を愛し、國を愛し、人類を愛することになる、兒童のために最善を謀らざる家庭は、決して幸福を望むことは出來ぬ、我儕は何人も兒童の研究に興味を持たれんことを切に希望してやまないのである。

○會費半簡年分金九十錢 同一簡年分一圓八十錢○兒童研究は毎月一回二十五日發行○會員には無代頒布○見本金十五錢

東京市本郷區千駄木町五十番地

日 本 兒 童 學 會

二月常會

二月十四日(第二土曜日)午後二時より
東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て

講演

子供といふもの

巖谷季雄氏

○巖谷小波氏の有益にして趣味豊なる講演
○會員會員外諸氏の多數の御來會を希望す

二月

フレイベル會